

第1回 広島市立大学 PSI 連携_KinoArts 加藤彰訓様による

『Career Talk at Misuzugaoka High School』

のご案内

2025/11/12 16:00~16:50実施

講座目的：

本講座は、生徒が 3D プリンターや 3D モデリングといった最先端のデジタル製造技術に触れることを通じて、以下の 2 点を達成することを目的とします。

- ・「頭の中のアイデア」が「現実のモノ」になる具体的なプロセスを理解する。・自身の興味や探究心（「好き」）が、将来のキャリアや課題解決に繋がる可能性を発見する。

講座の流れ（概要）：

1. 導入：観察と自己紹介

その①自己紹介_していること【限定公開中】

- ・事前に 3D プリンターで製作した精密な自転車模型を配布し、生徒に観察させる。
- ・手の中にある「成果物」から講義を始めることで、生徒の知的好奇心を引き出す。
- ・講師の自己紹介と、講師の事業を支える「3つの数字」を提示し、講義全体のテーマを示す。

2. プロセス開示：デジタルからリアル

▲ その②3Dプリンティングクリエーターになったキッカケ

【限定公開中】

- ・PC 上の 3D データが、3D プリンターを通して立体的な模型になるまでの製造工程を映像で紹介。
- ・小さな部品が組み合わさり、一つの大きなジオラマ作品になる様子を見せ、デジタルもののづくりのスケール感と可能性を伝える。

3. 体験：テクノロジーとの接触

その③3Dスキャンの利活用【限定公開中】

- ・高精度の 3D スキャナーを使用し、生徒の持ち物などをデジタルデータに変換するデモンストレーションを実施。注：高校コーディネーターがフィギアで登場！
- ・生徒が実際に最先端技術に触れる機会を設けることで、受け身ではない主体的な学びを促す。

4. まとめ：未来へのメッセージ

その④好きを溜めていくと良いよ

- 【限定公開中】・今回紹介した技術が、ゲーム、ファッショニ、医療など、様々な分野で活用されている実例を紹介。
- ・講師自身の経験を基に、「好き」を探求することが、いかにして未来のキャリアや自己実現に繋がるかを語る。